主な内容

- 病院再編計画について
- 睡眠医療センターからのお知らせ

Iwate Medical University Hospital News

地域医療連携だより

2025年 4月号

岩手医科大学附属病院　内丸メディカルセンター

病院再編計画について

附属病院長　**森野　禎浩**

岩手医科大学附属病院が面する医大通りには、大型店舗が次々と立ち並び、矢巾の一角には新たな街並みが形成されつつあります。矢巾への移転から約６年、悪戦苦闘の末に対応してきたコロナ禍も、徐々に「記憶」となりつつあります。しかしながら、この未曾有の経験は、私たちに計り知れないほどの変化をもたらしました。医療需要の減少や物価の高騰により、私たちは厳しい状況に置かれ、日本中の医療機関から悲鳴にも似た声が聞こえてくるようになりました。

そうした中、私たちは昨年度末に大きな決断を下し、短期間で計画の青写真をまとめ、２月末にはプレス発表を行いました。現在の内丸メディカルセンター（以下内丸 MC）は、来年３月をもって閉院し、それ以降は歯科機能および一部の医科機能に特化した新たな医療機関へと生まれ変わり、大半の診療機能を矢巾附属病院の一院体制に集約いたします。盛岡市内の医療を守るため、私たちはぎりぎりまで努力を重ねてまいりましたが、医師不足や経営効率の観点から、持続可能な形への転換を決意いたしました。

この令和の大改修における最大のテーマは、「周辺医療施設との共存を目指した、一大医療連携ネットワークの構築」であり、その実現に向けて、体制のシェイプアップと機能強化を進めてまいります。岩手医大が担うべき医療と、地域病院にお願いすべき医療を丁寧に協議の上で分担し、紹介の窓口は、岩手医大からの医師派遣や、なじみの深い周辺病院に「新患の共通窓口」としてお願いし、検査機器を共有しながら地域全体で治療にあたる、新しいスキームを目指します。新しい岩手医科大学附属病院は、高度な医療を必要とする患者さんや、重症の救急患者の治療に専念する所存です。教育機関としての機能を維持しつつ、この地域の特性を踏まえた「選択と集中」を徹底してまいります。

この１年間の準備期間で、どこまで皆様にご支持いただける病院へと変わっていけるか――まさに、日々が正念場であると感じております。もともと外来機能を内丸 MC に集約する構想のもと、矢巾の附属病院の外来ブースは少なく設計されており、今後は低層階に加え、病棟の一部も外来化に向けた改修工事を進めてまいります。改装予定の病棟は、外来化学療法センターと入院化学療法病棟を併設する「化学療法ゾーン」へと生まれ変わります。これにより、北東北のがん患者さんに対し、新たな付加価値を備えた医療サービスを提供する一大拠点を目指してまいります。また、集中治療病棟は、重症患者を高回転で受け入れられる運用へと体制を整え、新たな役割に対応できるよう着々と準備を進めております。

現在、内丸MCには、1日あたり約1,000人の患者さん（多くは再診の方）が通院されています。今後１年をかけて、患者さんと丁寧に相談を重ねながら、通院の利便性や、改修後の矢巾附属病院の外来診療スペースの収容力を考慮し、再診の患者さんにつきましては、地域の先生方に日常診療や処方を中心としたご診療をお願いするケースが増えてくることが予想されます。患者さん

の診療にご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。なお、定期的な検査体制は、岩手医科大学附属病院が責任をもって提供いたします。

現時点でお伝えできる情報には限りがございますが、今後も上記のような新たな診療体制の実現に向けて、関係各所との協議を進めてまいります。地域の医療機関をはじめとする皆様のご理解とご支援を、心よりお願い申し上げます。

内丸メディカルセンター長　**下沖　収**

日頃は岩手医科大学附属病院ならびに内丸メディカルセンター（以下内丸 MC）に格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、誠の医療人養成と高度専門医療の提供とともに、地域医療の中核としての責任を果たして参りました。しかしながら、慢性的な医師不足の中での働き方改革への対応もあり、非常に厳しい運営状況が続いております。さらに、急激な人口減少と医療ニーズの変化の中、固定化した医療費抑制政策と物価や人件費高騰による支出増大などの逆風が医療経営を直撃しております。附属病院と内丸 MC の経営においてもその影響は甚大であり、二病院体制の維持が極めて困難な状況となっておりました。厳しい現状と今後の見通しについて慎重な議論を重ねた結果、2026（令和 8）年 3 月 31 日をもって内丸 MC を閉院し、矢巾附属病院へ集約して経営改善を図ることを選択するに至りました。

歯科医療センターについては、医科との密接な連携が必要な一部の診療科を矢巾附属病院に移設し、その他の診療科は引き続き内丸での診療を継続いたします。また、諸般の事情を踏まえ、一部の医科診療科も内丸での診療継続を検討しております。

内丸 MC では開院以来、「附属病院の高度外来機能」、「短期滞在検査・手術」、「地域医療の拠点施設」としての役割を全うすべく職員一丸で取り組んで参りましたが、閉院に至ることは痛恨の極みでございます。

2026（令和 8）年 4 月からは、矢巾附属病院に診療を集約する体制へ移行すべく準備を進めておりますが、2025（令和 7）年度においては、内丸 MC における医科・歯科ともに従来通りの診療を継続いたします。患者さんのご紹介についても、これまでと同様の方法でお願いいたします。新患の受け入れも従来通り行ってまいります。閉院前の一定期間は新規患者さんの受け入れが困難になることが予想されますが、準備状況を見ながら確実にご案内いたします。なお、2026（令和 8）年 3 月の閉院に向け、患者さんの病状やご希望を踏まえ、矢巾附属病院または他の医療施設へ責任を持ってご紹介させていただきます。

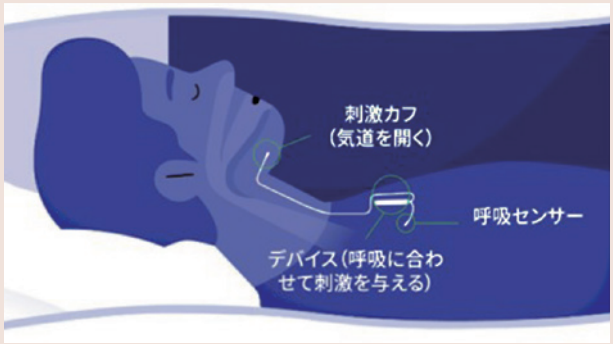
最後になりましたが、これまで内丸 MC をご利用いただいた患者さん、地域の皆様、そしてご紹介くださった連携施設の皆様に心より感謝申し上げます。残された期間も誠心誠意対応してまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

睡眠医療センターからのお知らせ

◇舌下神経刺激装置植込術による治療を開始しました

岩手医科大学附属内丸メディカルセンター内睡眠医療センターは、2024 年 11 月 26 日に岩手県で初となる閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する舌下神経刺激装置植込術を実施しました。この手術は 2021 年 6 月に保険適用となった新しい治療法で、全国でもまだ約 75 例しか実施されていない先進的な治療です。

閉塞性睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に呼吸が繰り返し止まる病気で、日中の眠気や集中力低下による交通事故のリスク増加、さらには閉塞性睡眠時無呼吸症候群でない人と比べて高血圧は二倍、狭心症・心筋梗塞は四倍、脳梗塞、脳出血は四倍合併しやすく重篤な合併症を引き起こす可能性がある疾患です。また、既に脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全を患っている人の中にもかなり閉塞性睡眠時無呼吸症候群が合併していて原疾患の再発の可能性があります。従来の標準治療である CPAP 療法（持続陽圧呼吸療法）は、毎晩マスクを装着して寝る必要があり、その違和感から継続が困難な患者さんも少なくありませんでした。



本デバイス植込み状態

今回導入した舌下神経刺激療法は、手術により体内に小型の装置を埋め込み、就寝時に舌下神経を微弱な電気で刺激することで、睡眠中ののどの閉塞を防ぐ画期的な治療法です。舌下神経は痛みを感じない神経ですので作動時に痛みを感じることはありません。

これにより CPAP の継続が困難な患者さんに対し、閉塞性睡眠時無呼吸症候群による合併症のリスクを低減するための新たな治療の選択肢を提供することが可能になりました。手術適応があるかどうかは手術前に厳密に調べますが、手術自体は全身麻酔で行われ、2 時間程度で終了します。入院期間も約 1 週間です。舌下神経周囲の操作と胸部の操作が必要ですが、合併症もほとんどなく安全にできる手術です。

植え込むデバイス

また、睡眠医療センターでは附属病院頭頸部外科と連携し、手術と術後の創部管理を附属病院頭頸部外科、その後の刺激装置の調整と検査を睡眠医療センターで行う体制を整えています。この治療法の導入により、閉塞性睡眠時無呼吸症候群に悩む患者さんに、より良い医療を提供できることを期待しています。

閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者の管理でお困りの際は、岩手医科大学附属内丸メディカルセンター内睡眠医療センターまでご連絡ください。

本治療の詳細

https://www.inspiresleep.jp/medical-professionals

本治療の患者向け説明動画

患者向け説明動画視聴ご希望の際は、右記より動画をご視聴ください。

令和５年度内丸メディカルセンター病院年報を発行しました

この度、内丸メディカルセンターでは、令和５年度の病院年報を発行いたしました。

年報には、内丸メディカルセンターの概要や各種統計資料に加え、各部門や委員会の活動状況を分かりやすく、まとめています。

この１冊で令和５年度の内丸メディカルセンターの全取り組みが分かる内容となっておりますので、是非ご一読ください。

■掲載内容

- センター概要（建物配置、標榜診療科、組織図など）
- 統計資料（患者数、手術件数、紹介率など）
- 部門の活動状況
- 委員会の活動状況　など

■閲覧方法

本年報は、紙媒体では発行いたしません。お手数をおかけいたしますが、下記ＵＲＬまたは二次元バーコードよりアクセスの上、ご覧ください。

▶岩手医科大学附属内丸メディカルセンターＨＰ
https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/02/annual_report.pdf

病院情報配信コンテンツの紹介

ON AIR

医療情報提供テレビ番組「健康大百科」

健康維持のためには、様々な医療情報や健康への知識を知ることが大切です。本院では、テレビ岩手と共同で、岩手県民の皆さんに最新の医療情報を知ってもらうことを目的として「健康大百科」と題した医療情報提供番組を放送しています。よろしければ是非ご覧ください。

ラジオ番組 岩手医科大学 ～いのちから～

「医の力」「命から」をテーマに、身近な医療や健康情報、本学が実践している最先端医療などについて、教職員が広く県民に発信する番組です。毎週日曜９時30分からエフエム岩手で放送中！皆様もぜひお聴きください。

学校法人岩手医科大学公式 YouTube チャンネル

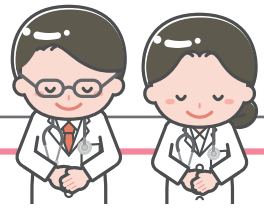
大学及び附属病院、附属内丸メディカルセンターの取り組みを発信している当チャンネルでは、教職員へのインタビュー動画やがん情報の紹介動画、病棟紹介動画など多数投稿されています。皆様もぜひご覧ください。

附属病院 LINE 公式アカウント

2023 年度に岩手医科大学附属病院 LINE 公式アカウントを開設いたしました。

病院にお越しいただく皆様の役に立つ情報や、タイムリーな情報を LINE で直接お届けいたしますので、よろしければ友だち登録をお願いいたします。

紹介予約センターからのお知らせ



内丸メディカルセンター 腎・高血圧内科より

４月１日から**火曜日午前および水曜日午後は休診**になります。

火曜日は終日休診になりますので、ご紹介の際はご留意ください。

内丸メディカルセンター 脳神経内科・老年科より

４月１日から**水曜日は終日休診**となります。

また、**新患受付は午前 11 時まで**とさせていただきます。

ご紹介の際はご留意ください。

内丸メディカルセンター 耳鼻咽喉科より

４月１日から、**完全予約制**とさせていただきます。

また、**木曜日は終日休診**になります。

ご紹介の際はご留意ください。

歯科医療センターより

４月１日から平日は診療時間が **17 時まで**になります。

また、歯科各診療科へのご紹介については、紹介予約センターにて FAX 申し込みによる事前紹介を受け付けております。ぜひご活用ください。

Iwate Medical University
岩手医科大学附属病院
患者サポートセンター

地域医療連携だより（岩手医科大学附属病院）４月号
【発行日】2025年４月１日
【発　行】岩手医科大学附属病院患者サポートセンター（地域医療連携センター事務室）
〒028-3695　岩手県紫波郡矢巾町医大通2-1-1
TEL：019-613-7111（内線4152）　FAX：019-611-8071
【印　刷】河北印刷株式会社
盛岡市本町通2-8-7　TEL　019-623-4256　E-mail：office@kahoku-ipm.jp